

社 会（公民的分野）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新編 新しい社会 公民
17	教	出	中学社会 公民 ともに生きる
35	清	水	中学 公民 日本の社会と世界
46	帝	国	社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして
116	日	文	中学社会 公民的分野
225	自	由社	新しい公民教科書
227	育	鵬社	[新編] 新しいみんなの公民

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	学習課題の示し方	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例
		②	公民としての基礎的教養を培うための工夫	現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための具体例
		③	国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	国旗・国歌に関する記載の仕方、領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	興味・関心を高めるための工夫	導入における興味・関心を高める問いや資料の記載とその具体例
		⑤	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	持続可能な社会の形成に関わる課題例と課題解決の手順
		⑥	作業的・体験的な学習を実施するための工夫	作業的・体験的な学習の事例と具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦	単元や資料等の配列・分量	大項目ごとのページ数と単元名
		⑧	発展的な学習に関する内容の記載状況	発展的な学習の事例数と事例及び思考を深める問いや手立て
(エ)	内容の表現・表記	⑨	学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	資料の種類と掲載数
		⑩	本文以外の記述の工夫	問いやまとめの記載の仕方
(オ)	言語活動の充実	⑪	多面的・多角的に考察させるための工夫	多面的・多角的に考察させる具体例
		⑫	目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	単元末におけるまとめ方の具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①学習課題の示し方
方法	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例

	1時間ごとの学習課題の記載の仕方	記載例
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「私たちの生活と地方自治」「地方自治の仕組み」「地方財政の仕組みと課題」「住民参加の拡大と私たち」の項目で示している。 ○ タイトルの右横に、「どのような」「どのように」という問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。 	<p style="text-align: center;">「地方自治と私たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「私たちの住んでいる地域の政治は、どのような考えに基づいて行われているのでしょうか。また、地方公共団体はどのような仕事をしているのでしょうか。」 ○ 「地方自治はどのような仕組みで行われているのでしょうか。」 ○ 「地方公共団体のお金はどのように使われているのでしょうか。また、地方財政はどのような課題をかかえているのでしょうか。」 ○ 「地域における住民参加はどのように行われているのでしょうか。」
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「身近な地域の政治」「暮らしを支える地域の行政サービス」「住民参加で地域をつくる」「変わりゆく地域社会」の項目で示し、タイトルの横に「地域の課題と地方自治のしくみ」「地方公共団体の仕事と地方財政」「住民の権利と参加」「地方自治の課題とこれから」とサブタイトルを示している。 ○ タイトルの下に、「どのような」「どのようにして」という問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。 	<p style="text-align: center;">「地方自治と住民の参加」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域の政治は、どのようなしくみに支えられているのでしょうか。」 ○ 「地方公共団体は、どのような仕事を行い、どのような財政状況にあるのでしょうか。」 ○ 「私たち地域住民は、地域の政治にどのようにして意見を反映させることができるのでしょうか。」 ○ 「地方自治体はどのような課題を抱え、どのような取り組みを行っているのでしょうか。」
清水	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「私たちの生活と地方自治」「市民参加の地域づくり」の項目で示している。 ○ タイトルの左横に「何だろうか」「どのような」という問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。 	<p style="text-align: center;">「住民がきづく地方自治」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地方自治とは何だろう。また、どのようなしくみになっているのだろうか。」 ○ 「国の政治ではみられない、地方自治の大きな特色とは何だろうか？」
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「地方自治と地方公共団体」「地方公共団体のしくみと政治参加」「地方財政の現状と課題」「これからの地方自治」の項目で示している。 ○ タイトルの右横に「どのような」「どのように」という問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。 	<p style="text-align: center;">「住民として地方自治について考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「私たちが住む地域の政治は、どのような考えにもとづいて行われているのでしょうか。」 ○ 「私たちが住む地方公共団体は、どのようなしくみで仕事を行っているのでしょうか。」 ○ 「地方公共団体の財政はどのような状況になっており、またどのような課題があるのでしょうか。」 ○ 「地方自治を取りまく環境はどのように変化しているのでしょうか。」
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「私たちのくらしと地方自治」「地方公共団体の仕事としくみ」「地方公共団体の財政と課題」「地方自治と私たち」の項目で示している。 ○ タイトルの左横に「なぜ」「どのように」「どのような」という問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。 	<p style="text-align: center;">「くらしを支える地方政治」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「なぜ地方公共団体ごとに政治を行っているのだろうか。」 ○ 「地方公共団体の仕事としくみはどのようになっているのだろうか。」 ○ 「地方公共団体の財政の課題には、どのようなものがあるのだろうか。」 ○ 「地方自治に住民が参加するために、どのような権利や手段があるだろうか。」

【社会（公民的分野）】

自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「地方公共団体の役割」「地方自治の課題」の項目で示している。 ○ タイトルの下に「何だろうか」「どうして」「どう」という問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。 	<p>「地方公共団体のしくみと課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地方自治の意義とは何だろうか。国家レベルの行政や立法だけでは、どうして不十分なのだろうか。」 ○ 「地方自治体の財源は、どう確保されているだろうか。地方と国との関係は、どうかわってきただろうか。」
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「私たちと地方自治」「地方公共団体の政治のしくみ」「私たちのまちづくり」の項目で示している。 ○ タイトルの下に「何ができるでしょう」「調べてみましょう」「どのような」という問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。 	<p>「地方自治と住民」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分たちの地域を住みやすくするため、何ができるでしょう。」 ○ 「地方公共団体の役割を調べてみましょう。」 ○ 「私たちの地域ではどのようなまちづくりが行われているのでしょうか。」

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②公民としての基礎的教養を培うための工夫
方法	現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための具体例

現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための具体例 (「対立と合意」「効率と公正」の扱い)	
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2つのトラブル例をマンガで掲載している。 ○ 「学校でのトラブルについて考えよう」をイラストで掲載し、解決のための話し合いの様子をイラストや吹き出しで示している。 ○ 「10年前のマンションの駐輪場問題について考えよう」を写真やイラストで掲載し、「解決のための話し合い」や「決まりの作成」「決まりの作成・評価」をイラストや表で示している。 ○ 「いちごを効率的に配分するには」を掲載している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校で起こるさまざまな問題の例」として3つのケースを掲載している。 ○ 「マンションの駐車場問題について考えよう」を掲載している。 ○ 話し合いの内容をイラストと吹き出しで示している。 ○ 話し合いの手順をフローチャートで示している。 ○ 「あるプロスポーツ選手の契約交渉の例」を掲載している。
清水	<ul style="list-style-type: none"> ○ バスケ部とバレー部の平日の体育館の使い方についてマンガで掲載している。 ○ 「話し合いで出た意見の問題点を考えてみよう」「解決策を考えてみよう」等の問いを掲載している。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ マンションで起こっている問題について、次の事例を掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「スロープ設置の費用は誰がいくら負担する？」を掲載し、イラストや吹き出しで話し合いの様子を示している。 ・「ごみおき場の掃除規則は変えられる？」を掲載し、図や吹き出しで解決案を示している。 ○ 「マンションの騒音問題を解決しよう」でロールプレイングを学習活動として示している。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「きまりをつくってみよう①」をマンガで掲載している。 ○ 「合意する方法を考えよう」をマンガで掲載し、例を6つ示している。 ○ 「きまりをつくってみよう②」をイラストや表で掲載し、割り当て例を示している。 ○ 「効率と公正の視点から評価してみよう」で3つの例を掲載している。 ○ 「きまりをつくってみよう③」をイラストや表で掲載し、決まりの評価を示している。 ○ 「決まりを変更した例を考えよう」で3つの例を掲載している。
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校生活での対立と合意」として、部活動における体育館の使い方を例にコラムで掲載している。 ○ 「ここがポイント！」で、ルール等について掲載している。
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化祭の劇主役についてマンガで掲載している。 ○ 「対立」から「効率と公正」を経て「合意」に至る例をイラストや吹き出しで示している。

観点	（ア）基礎・基本の定着
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方法	国旗・国歌に関する記載の仕方，領土をめぐる問題等に関する記載の仕方

	国旗・国歌に関する記載の仕方	領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
東 書	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「主権国家は，国家の象徴として，国旗と国歌を持っています。各国の国旗や国歌にはその国の歴史や文化が反映されています。日本では，1999（平成 11）年に法律で『日章旗』が国旗，『君が代』が国歌と定められました。国どうしが尊重し合うために，たがいに国旗・国歌を大切にしていかなければなりません。」 ○ 写真「オリンピックの表彰式」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図「日本の領域と排他的経済水域」 ○ 解説「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」 ○ 写真「沖ノ鳥島」 <p>【コラム】</p> <p>（日本の領土をめぐる問題の現状）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図「日本の領域と排他的経済水域」 ○ 解説「竹島問題」「北方領土問題」「尖閣諸島をめぐる問題」 ○ 写真「竹島」「竹島に韓国が造った警備施設」「国際司法裁判所」「北海道の根室半島上空から見た歯舞群島」「日ソ共同宣言」「東京宣言」「尖閣諸島の魚釣島」「中国の船と並走する海上保安庁の巡視船」 ○ 新聞記事「李承晩ラインについて報じる島根県の新聞」
教 出	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「世界のどの国にも，国旗と国歌があります。国旗と国歌はその国を表す象徴（シンボル）で，国家はそれらに対しお互いに敬意をはらって尊重し合うことが，今日の国際的な儀礼になっています。日本では長年，『日章旗（日の丸）』を国旗，『君が代』を国歌とするのがならわしでしたが，1999 年にそのことが法律で定められました。植民地などが独立をはたして主権国家となり，独自の国旗を掲げることは，自らのことは自分で決定するという民族自決への思いや誇りを表現することにもなります。国旗や国歌には，それぞれの国の歴史や国民の思いが込められています。」 ○ 写真「オリンピックの表彰式」「震災の復興支援のためのサッカーの試合で，国歌を斉唱する仙台市の子どもたち」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 解説「国旗と国歌の歴史」 ○ 絵図「威臨丸」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図「日本の国土とその周辺」「北方領土」 ○ 解説「北方領土」「竹島と尖閣諸島」 ○ 写真「竹島と尖閣諸島」 <p>【コラム】</p> <p>（日本の外交のいま）の一部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 解説「北方領土の返還に向けて」 ○ 写真「折り紙や絵手紙作りなどが行われた，色丹島での文化交流会の様子」「納沙布岬から見た北方領土の歯舞群島」
清 水	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗・国歌」 ○ 本文「独立国はそれぞれ，そこに住む人びとに一体性をもたせるために，さまざまな儀式をおこなったり象徴を用いたりしている。国旗や国歌もそのようなはたらきをもっている。国際社会において独立国どうしが友好関係を維持するには，たがいに，他国の歴史や文化を理解し，国旗や国歌を尊重しあうことが大切である。」 ○ 側注「日本では，1999 年に国旗・国歌法が制定され，『日章旗（日の丸）』を国旗，『君が代』を国歌とすることが定められた。」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図「日本の領土と経済水域」 ○ 解説「日本の領土問題（北方領土，竹島）」

【社会（公民的分野）】

<p style="text-align: center;">帝 国</p>	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「国旗と国歌は、それぞれ国のシンボルです。世界の国々の国旗や国歌は、自分たちの国の独立の歴史や国王をたたえるものなどさまざまです。日本では、1999年に施行された国旗・国歌法によって、日章旗（日の丸）が国旗で、君が代が国歌であると定められています。国家間においてたがいに主権を尊重し協力し合っていくうえで、国旗や国歌を尊重し合うことは大切です。オリンピックなどの国際大会でも、各国の国旗がかかげられ、国歌が演奏されます。国旗や国歌を相互に尊重することは、現代世界の儀礼となっています。」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 解説「オリンピックと『国家』の意識」 ○ 写真「ロンドンオリンピックで優勝し、『日の丸』をかかげて喜ぶレスリングの吉田沙保里選手」「『日の丸』をふって応援する人たち」 ○ 写真「拉致被害者の帰国」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図「日本の排他的経済水域」「北方領土の歩み」 ○ 写真「北海道・納沙布岬と歯舞群島の水晶島」「尖閣諸島のかつおぶし工場」 ○ 側注「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (尖閣諸島をめぐる) ○ 解説「尖閣諸島」 ○ 写真「海上保安庁の船にはさまれた中国船（尖閣諸島沖）」
<p style="text-align: center;">日 文</p>	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国家と主権」 ○ 本文「(前略) すべての国の主権を平等に尊重し合うことが、国際社会のたいせつな原則で、国旗・国歌を国のシンボルとして相互に尊重することが、国際的な儀礼です。日本では、法律で日章旗を国旗、君が代を国歌としています。」 ○ 側注「日本では、日章旗（日の丸）を国旗、君が代を国歌とする国旗・国歌法があります。」 ○ 写真「観客席に掲げられた日章旗」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図「日本の領域と排他的経済水域」 ○ 解説・地図「北方領土」 ○ 写真「竹島」「尖閣諸島」「沖ノ鳥島」 ○ 側注「竹島問題」
<p style="text-align: center;">自 由 社</p>	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「主権国家の独立と尊厳を表し、国歌の掲げる理想や、国民が共有する誇りや連帯心を象徴するものとして国旗と国歌があります。国旗と国歌に対する敬愛は、国を愛する心情につながっています。また、国際社会では、他国の国旗と国歌に対して、自国のそれと同等に敬意を表するのが基本的礼儀となっています。」 ○ 解説「国旗・国歌への敬意」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「国旗と国歌を考えてみよう」 ○ 解説「『日章旗』の意味」「『君が代』の意味」「国旗掲揚の国際儀礼」 ○ 写真「アメリカ市民権獲得宣誓式の模様」「ラモス瑠偉」 ○ グラフ「国旗・国歌に対する日米の高校生の差」 ○ ミニ知識「どこの国の国歌だろう？」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図「わが国の領域」 ○ 写真「中国の天然ガス採掘施設」「沖ノ鳥島の一部、東小島」 ○ 解説「2つの領土問題と尖閣諸島」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (わが国の領土に関する問題) ○ 解説「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」 ○ 地図「1855年の日露通好条約で決められた国境」「竹島の位置関係」「尖閣諸島」 ○ 年表「北方領土問題の主な歴史」
<p style="text-align: center;">育 鵬 社</p>	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗・国歌」 ○ 本文「国旗と国歌はその国を象徴するもので、それぞれの国の歴史や国民の理想がこめられています。過去に外国の植民地だった国にとっては、独立を果たし独自の国旗・国歌をもったことが主権国家の証にもなります。それぞれの国の人々が、自国の国旗・国歌に愛着をもつのは当然のことです。国旗・国歌に敬意を払うということは、その国そのものに対して敬意を払うことになるので、それらを相互に尊重し合うのが国際儀礼になっています。オリンピックやワールドカップや国際会議で、国旗は国の大小にかかわらず平等に掲げられます。日本では長年、日章旗（日の丸）を国旗、君が代を国歌とすることが、ならわしとして広く国民に定着しており、1999（平成11）年には、そのことが国旗・国歌法として定められました。」 ○ 写真「オリンピック表彰式での国旗掲揚の様子」 ○ 側注「『国旗・国歌法』第1条 国旗は、日章旗とする。第2条 国歌は、君が代とする。」「国際社会で通用する国旗・国歌への敬意の表し方」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 解説「国歌『君が代』の意味」 ○ 資料「各国の国歌の大意」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図「日本の主権範囲」 ○ 解説「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」 ○ 新聞記事「尖閣諸島の日本領海内に中国の監視船が侵入したことを伝える新聞記事」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (領土を取り戻す、守るということ) ○ 解説「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」 ○ 写真「日本人が住んでいたころの色丹島の運動会」「国後島で祭壇に手を合わせる墓参団員」「戦前、隠岐の漁民が竹島で行っていたアシカ猟」「明治30年代、尖閣諸島のカツオ節工場前での記念写真」

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	導入における興味・関心を高める問いや資料の記載とその具体例

	導入における興味・関心を高める問いや資料の記載（私たちと経済）	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載している。それぞれの写真にキャラクターの吹き出しで、「どうして」「どのような」等の問いを掲載している。小学校の学習内容を掲載し、キャラクターの吹き出しで、「思い出してみよう」と示している。 ○ 「コンビニエンスストアの経営者になってみよう」を設け、絵図や表・グラフ、問いを掲載している。 	<p>「価格の働き」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「需要量・供給量・価格の関係」のグラフ、「価格の働き」の図を掲載し、キャラクターの吹き出しで、「価格が高いほうの野菜の生産量が増えるということかな。」「トラックは、農地や労働力、肥料などの生産に必要な資源を表しているんだね。」という問いを掲載している。 ○ 「廃棄処分されるキャベツ」の写真と「農作物と工業製品の価格の動き」のグラフを示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載している。写真の下部に、写真を説明する文とともに、写真の内容に関係する項目とページ数を示している。 ○ 「循環する経済」で、絵図やキャラクターを掲載して、単元の内容についての問いを掲載している。 	<p>「ものの価格の決まり方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「廃棄処分されるキャベツ」の写真、「キャベツの月別の入荷量と平均価格の変化」のグラフを掲載し、キャラクターの吹き出しで「せっかく作ったのに、どうして廃棄処分までしなければならないのかな。」という問いを掲載している。 ○ グラフ下部に「見てみよう」を掲載し、野菜の出荷量を安定させるための調整についての説明を示している。 ○ 「洋服の価格の成り立ち」の図を示している。
清 水	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページに2枚の写真と説明文を掲載している。ページの下部に人物の写真と、その人物の著作等からの引用文を示している。 	<p>「価格のはたらきと市場経済」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「需要と供給による価格の決まり方」として、「需要曲線を示すグラフ」「供給曲線を示すグラフ」「需要曲線と供給曲線の交差を表すグラフ」の3つのグラフを掲載している。 ○ グラフ中にグラフの読み取りに関する説明文を示している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページに1枚の写真を掲載している。写真の下には、大単元の概要及び問いを掲載している。 ○ 「身のまわりの暮らしと経済について考えてみよう」を設け、絵図や問いを掲載している。 	<p>「価格のはたらきと経済」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「牛肉の価格が変わったら」として、価格が下がった場合と価格が上がった場合の事例を、イラストと吹き出しで示している。 ○ イラスト下部には、「牛肉の価格が変わると、消費者、お肉屋さんにはどのような影響があるのでしょうか。」という問いを掲載している。 ○ みかんの入荷量と価格のグラフを示している。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページに2枚の写真を掲載している。ページ下に単元の概要を記載しており、キャラクターの吹き出しで、写真の説明や問いを掲載している。 ○ 「ライフプランを考えよう」において、絵図やキャラクターで、単元の内容についての問いを掲載している。 	<p>「市場のしくみと価格の決まり方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「海外旅行のパンフレット」として、「ハワイ旅行パンフレットの表紙」の写真、「旅行代金カレンダー」「旅行代金」の表を掲載している。キャラクターの吹き出しで「なぜ、同じハワイ旅行なのに価格にちがいが出るのだろう。」という問いを掲載している。 ○ 「きゅうりの入荷量と平均価格」のグラフを示している。
自 由 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページに町並みのイラストを掲載している。単元名の下に、単元の内容についての問いを掲載している。 	<p>「国民生活と経済」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「どの2人が出会っても交換は成立しない」「お金があればどの2人が出会っても交換が成立する」という2つイラストを吹き出し等とともに示している。 ○ ページ下部に「貝の写真」と「魚をせりにかけている風景」の写真を掲載し、それぞれの写真を説明する文章を示している。
育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載している。キャラクターの吹き出しで、写真の説明や問いを掲載している。 ○ 「経済の入り口」において、漫画やキャラクターで、単元の内容についての問いを掲載している。 	<p>「市場経済と価格」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「野菜価格の変化を伝える新聞記事」「みかんの月別入荷量と月別平均価格」「需要量・供給量と価格の関係」の3つの資料を掲載し、キャラクターによる「需要量と供給量のあいだにはどういう関係があるのだろう。」という問いを掲載している。 ○ ページ下部に「缶コーヒーの価格のちがいの例」の写真を掲載し、キャラクターによる問いを掲載している。

【社会（公民的分野）】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
方法	持続可能な社会の形成に関わる課題例と課題解決の手順

	課題例	課題解決の手順
東 書	持続可能な社会と交通 公害、環境保全、地球環境問題、資源・エネルギー問題 差別・人権侵害、社会的弱者の支援、戦争・紛争 貧困・飢餓、伝統文化の継承と保存、異文化理解 多文化共生、宗教・民族間の対立 災害に強いまちづくり、東日本大震災からの復興 交通安全、防犯対策	1 テーマの設定 2 資料の収集と読み取り 3 考察 4 レポートの完成 ・探究を社会参画につなげる
教 出	核兵器を拡声器にかえて、平和を！ 超高齢・人口減少社会に生きる 地球温暖化をはじめとする地球環境の破壊 戦争やテロ、核兵器・地雷・不発弾 民族、性の違いなどをめぐる差別や偏見など 発展途上国と先進国間、各国における経済格差や貧困など 水・石油・原子力などの資源・エネルギーの有限性など さまざまな感染症などの病気と、職や菓の安全など 歴史的遺産や文化などの多様性と、その伝承・継承など 学校や家庭を超えた個人情報の漏洩やネット犯罪など 地域や学校、家庭で起こる犯罪・非行・いじめ・虐待など 地震や津波をはじめとするさまざまな自然災害	1 テーマを選ぶ 2 「未来への私の約束」を実際につくる 3 「約束」を表現する「作品」をつくる ・行動計画を実践していくこと
清 水	水問題、水不足 再生可能エネルギー、地球温暖化、酸性雨、砂漠化、モノカルチャー経済	1 テーマを決めよう 2 情報を集めよう 3 取材に行ってみよう 4 調査結果をまとめて論文を書こう 5 レポートにまとめて発表しよう
帝 国	発展途上国の教育について 少子高齢化、文化の継承と創造、男女平等、バリアフリー社会、外国人労働者、年金・社会保険、紛争、地球温暖化、教育、資源・エネルギー	1 課題を設定しよう 2 課題探究の計画を立てよう 3 課題を調査しよう 4 レポートを作成し発表しよう
日 文	世界に生かす日本の環境技術 変わる国連のはたらき、日本のエネルギー問題、世界の貧困問題の解決、若者と高齢者の関係、災害にそなえるには女性、子ども、外国人、アイヌ、障がいのある人、平和、介護、南北問題、労働、プライバシー、憲法9条、核兵器、国連、PKO、地域紛争 インターネット、遺伝子診断・操作、臓器移植、原子力発電、新エネルギー、地球温暖化、生物多様性、循環型社会 地域の年中行事、日本の宗教、イスラム教、日本の芸術と世界、日本文化のグローバル化、世界遺産、観光、多文化共生社会 社会保障・年金、外交、防衛、景気、TPP加盟、企業とグローバル化、企業の社会貢献、領土問題、食料自給率、財政赤字、防災・減災、世代間の公正	1 課題の設定 2 資料の収集と読み取り 3 考察 4 まとめ方
自 由 社	持続可能な日本社会をつくるために私たちは何ができるか 地球環境問題、日本型ODA、人間の安全保障、核廃絶、核抑止論	1 課題をみつけよう 2 選択した課題について調べよう 3 解決の方法を考えてみよう 4 卒業論文にまとめる
育 鵬 社	環境にやさしい国、日本 世界をおもてなしできる国、子どもの笑顔があふれる国、元気で100歳！みんながイキイキしている国、地方がキラキラしている国、ものづくりの国、働く喜びを実感できる国、「世界のお医者さん」と呼ばれる国、世界の平和と安全に貢献する国、クールジャパンを発信する国、「もったいない」精神の国、省エネの国、水と緑と風薫る国	1 テーマを決めよう 2 「国づくり構想」をつくろう 3 プレゼンテーションしよう 4 「国づくり構想」の見直し 5 レポート作成

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫
方法	作業的・体験的な学習の事例と具体例

	作業的・体験的な学習の事例	具体例
東 書	<p>○ 話し合い、ディベート、身近な地域の調査、伝統文化継承の取組調べ、人権保障の取組調べ、選挙シミュレーション、新聞社説の比較、裁判の傍聴、模擬裁判、地方公共団体調べ、条例調べ、地方財政（歳出）の変化調べ、住民参加の工夫調べ、政治参加について地域調べ、防災や減災の取組調べ、ロールプレイ（市長選挙に立候補しよう、コンビニエンスストアの経営者になろう）、環境ラベル調べ、四大公害病調べ、市町村の環境保全の取組調べ、TPP交渉調べ、お弁当の企画書の作成、現代の戦争や紛争調べ、ウェビングマップの作成（貧困問題）、模擬国際会議</p>	<p>「現代の民主政治と社会」</p> <p>○ 「裁判所では、だれでも裁判を傍聴できます。裁判所に行って、実際の裁判を傍聴してみましょう。」</p> <p>○ 模擬裁判をやってみよう</p> <p>「もし将来、裁判員に選ばれたら、被告人が有罪か無罪か、有罪ならどのような刑罰にすべきかについて議論し、決定することになります。次の架空の事件について、裁判員になったつもりで、被告人が有罪か無罪か話し合ってみよう。」</p>
		<p>「私たちの暮らしと民主政治」</p> <p>○ もしも私が裁判員裁判に参加したら</p> <p>「将来、私たちも裁判員として刑事裁判に参加し、有罪か無罪かの判断をくだす場面をむかえるかもしれません。ここでは、実際に起こった事件を題材にして、自分が裁判員に選ばれたつもりで判決について考えてみましょう。」</p>
教 出	<p>○ 新聞日記（新聞記事のスクラップ）の作成、ディベート（監視カメラの設置）、シミュレーション（裁判員裁判）、裁判傍聴に行ってみよう、プレゼンテーション（まちづくり）、ポスターセッション（企業のCSR）、レポートの作成（福祉の課題）</p> <p>○ 各章末の「学習のまとめと表現」の問題の中に、クラスでの意見交換を促す問いを設定している。</p>	<p>「国民主権」</p> <p>○ 刑事裁判と民事裁判</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 刑事裁判の流れ ・ 民事裁判の流れ
		<p>「国民として国の政治を考えよう」</p> <p>○ 裁判の判決を考えよう</p> <p>「裁判員制度が導入されたことで、私たちも裁判に参加し、判決を考えることになるかもしれません。ここでは、実際に起きたある事件を題材に、自分なりの判決を考えてみましょう。」</p> <p>○ 裁判傍聴をしてみよう！</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 傍聴する裁判を決めよう <ol style="list-style-type: none"> ①傍聴券の抽選のようす 2. 法廷内で気をつけること
清 水	<p>○ 各政党の政策調べ、国家が特定の思想や宗教を強制した例を調べる、選挙の投票率調べ、マスコミの報道訂正の例を調べる、各政党のマニフェスト調べ、国会議員の特権調べ、法律調査、首相の動静調べ、地域活性化の取組調べ、クレジットカードのしくみ調べ、外国の動き調べ、企業の配当金調べ、人気商品の製造元調べ、銀行の利子率調べ、新聞記事調査、公共事業や公的サービスの具体例調べ、税金の用途調べ、市町村の予算調べ、労働問題の事例集め、規制緩和の例調べ、現代の紛争調べ、ユニセフやユネスコ、南北問題の調査</p>	
帝 国	<p>○ ロールプレイング（役割演技）、ディベート、新聞スクラップの作成、事実と意見の区別、裁判における主張の整理、裁判傍聴、カードによる整理・分析、意見の分類・整理（KJ法、ツリースタイル、フィッシュボーンスタイル）、まちの予算案の作成、企業の企画書作成、ディスカッション（議論）</p>	

【社会（公民的分野）】

日 文	○ テーマに基づく話し合い、ブレインストーミング、ディベート、議論、ロールプレイ、施設調査、インタビュー調査、社会参画の提案、ミュレーション、携帯電話のルールづくり、金利の計算、新聞の調査、地域の名物やまちおこしの調査、まちの財政調査、死刑制度についてディベート、株価の動き調べ、ボランティア活動	「国民主権と日本の政治」 ○ ディベート「死刑制度」 「二つの立場の意見をもとに、死刑制度についてディベートをしてみましょう。」 ○ 裁判員裁判シミュレーション 「みなさんが将来参加するかもしれない裁判員裁判の手順をシミュレーションしてみましょう。みなさんの判決は、有罪でしょうか、無罪でしょうか。」
	○ ディベートをやってみよう、 ○ 章末の「学習のまとめと発展」の項目に、「友だちと手分けして、同じ日のいろいろな新聞を持ち寄り、第1面をみて、記事の内容や配列のちがいを調べてみよう。」という課題を掲載している。	「日本国憲法と立憲的民主政治」 ○ 裁判員制度 「裁判員裁判とは、何を期待されて始まったのだろうか。どんなしくみののだろうか。」
育 鵬 社	○ 話し合い、ディベート、ランキング、「自分の過去・現在・未来シート」の作成、家族にインタビュー、身近な祭りの調査、各新聞社の社説によるディベート、裁判を傍聴、裁判員裁判の判決ロールプレイ、地域おこしパンフレットの作成、企業訪問	「裁判所と司法権」 ○ 裁判を傍聴しよう 「裁判はだれでも自由に傍聴することができます。」 ①裁判所に電話をかけよう ②裁判所に行こう ③注意事項を知ろう ④裁判の記録を取ろう ○ 裁判員になって判決を考えよう 「あなたが裁判員として裁判に参加した場合、次の事例について、どのような判断を下しますか。『裁判員制度のしくみ』と『検察官と弁護人の意見』を参考にして、被告人が有罪か無罪か評議してみましょう。」

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦単元や資料等の配列・分量
方法	大項目ごとのページ数と単元名

	総ページ	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	その他
東 書	253	28	50	84	46	45
		○ 現代社会と私たちの生活	○ 私たちの暮らしと経済	○ 個人の尊重と日本国憲法 ○ 現代の民主政治と社会	○ 地球社会と私たち ○ より良い社会を目指して	
教 出	255	22	60	84	38	51
		○ 私たちの暮らしと現代社会	○ 私たちの暮らしと経済 ○ 安心して暮らせる社会	○ 人間を尊重する日本国憲法 ○ 私たちの暮らしと民主政治	○ 国際社会に生きる私たち ○ 私たちにできること	
清 水	229	18	62	74	28	47
		○ 私たちと現代社会	○ 私たちの生活と経済	○ 私たちの生活と政治	○ 国際社会を生きる	

【社会（公民的分野）】

帝国	241	28	60	74	42	37
		○ 私たちと現代社会	○ 私たちと経済活動	○ 私たちと民主政治	○ 私たちと国際社会 ○ より良い社会をめざして	
日文	263	30	56	88	41	48
		○ 私たちと現代社会	○ 私たちの生活と経済	○ 私たちの生活と政治	○ 私たちと国際社会 ○ 私たちの課題	
自由社	237	36	36	70	52	43
		○ 現代の日本の自画像 ○ 個人と社会生活	○ 国民生活と経済	○ 立憲国家と国民 ○ 日本国憲法と立憲的民主政治	○ 国際社会に生きる日本 ○ 持続可能な社会を目指して	
育鵬社	253	34	50	78	45	46
		○ 私たちの生活と現代社会	○ 私たちの生活と経済	○ 私たちの生活と政治	○ 私たちと国際社会の課題	

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧発展的な学習に関する内容の記載状況
方法	発展的な学習の事例数と事例及び思考を深める問いや手立て

	事例数	事例	思考を深める問いや手立て
東書	28	<ul style="list-style-type: none"> ○ 深めよう <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統文化の継承と私たち ・ 共生社会と私たち ・ アイヌ民族と先住民族の権利 ・ 東日本大震災からの復興と防災－仙台市を例に考える ・ 公害のない社会へ－水俣市を例に考える ・ 貿易の自由化と日本 ・ 日本のエネルギー政策のこれから ・ パレスチナ問題と中東和平 ○ 公民にチャレンジ <ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリーについて考えよう ・ 私の選ぶ順番は ・ 「公共の福祉」について考えよう ・ プライバシーの権利と表現の自由について考えよう ・ 多数決について考えよう ・ 選挙シミュレーション ・ 新聞でメディアリテラシーを身につけよう ・ 模擬裁判をやってみよう ・ 地方財政（歳出）の変化を調べよう ・ 私たちの政治参加 ・ お金の使い道を考えよう ・ 広告について考えよう ・ 利潤の配分について考えよう ・ 働くことについて考えよう ・ 需要量・供給量・価格の関係について考えよう ・ 日本の社会保障と財政の在り方を考えよう ・ 円高・円安の影響について考えよう ・ 温室効果ガスの排出削減について考えよう ・ 貧困問題の解決について考えよう ・ 文化の多様性について考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統文化の継承と私たち <ul style="list-style-type: none"> ・ ページ上部に資料を紹介する文を記載している。 ・ ページ上部に「トライ」を次のように記載している。 ①身近な地域や市（区）町村などで、伝統文化の継承の取り組みを探し、次の観点から詳しく調べましょう。 [その文化の名称と内容／その文化の歴史／継承のための具体的な取り組み／継承に関わる課題とその対策] ②調べて分かったことをクラスで発表し、伝統文化の継承が持続可能な社会の形成に果たす役割について考えましょう。 ③伝統文化の継承のために、自分たちにできることをクラスで話し合いましょ。 ○ バリアフリーについて考えよう <ul style="list-style-type: none"> ①右のイラストで、バリアフリーになっているところはどこか、読み取りましょう。 ②バリアフリーを実現するために私たちが気をつけるべきことはないか、右のイラストを参考にグループで話し合いましょ。 ③校内や学校周辺で、バリアフリーにすべきところを探し、校内案内図や地図などに記入しましょ。

【社会（公民的分野）】

<p>教 出</p>	<p>12</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読んで深く考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・つなげたい、日本の伝統や文化 ・ともに生きる社会を旨とする人たち ・国際社会の厳しい現実と平和主義 ・需要曲線と供給曲線ってなんだろう ・貿易とはなんだろう ・日本の外交のいま ○ 言葉で伝え合おう <ul style="list-style-type: none"> ・「情報リテラシー」ってなんだろう ～情報の入手と活用 ・犯罪の防止か、プライバシーの保護か ～ディベート ・もしも私が裁判員裁判に参加したら ～シミュレーション ・まちづくりのアイデアを提言しよう ～プレゼンテーション ・企業にこんなCSRをやってほしい ～ポスターセッション ・福祉の課題を追究しよう ～レポートの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ つなげたい、日本の伝統や文化 <ul style="list-style-type: none"> ・ページ上部に資料を紹介する文を記載している。 ・ページ下部に「さらに・ステップ・アップ」を次のように記載している。 ・日本の伝統や文化に関する文章を読んで感じたことを、川柳や短歌のかたちで表現しよう。 ・自分が、将来の人々へ伝えていきたいと思う「伝統や文化」には、どのようなものがあるだろうか。理由とともに 200 字以内で文章にまとめてみよう。 ○ まちづくりのアイデアを提言しよう～プレゼンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・ページ上部に資料を紹介する文を記載している。 ・ページ下部に「さらに・ステップ・アップ」を次のように記載している。 ・自治体の方から、自分たちの「提言」に対する意見や感想を聞こう。特に内容について不十分だった点や改善案を詳しく聞いてみよう。 ・いただいた意見をもとに、提案シートを作り直し、さらに提言を整理してみよう。
<p>清 水</p>	<p>23</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ もっと知りたい公民 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の文化を考えてみよう ・日本国憲法に定められた基本的人権の分類例 ・行政のしくみ/日本の内閣総理大臣とアメリカの大統領 ・刑事裁判と民事裁判 ・日本経済のあゆみ ・TPPと日本 ・社会保障のしくみ ・知っておきたい労働者の権利 ・かしこい消費者になろう！ ・国際連合のはたらき/地域統合のうごきと課題一連携を深めるEU ・地球環境の危機 ・卒業論文を書いてみよう ○ 深める公民 <ul style="list-style-type: none"> ・憲法改正について考える ・冤罪と日本国憲法一憲法とは何か？ ・平等権について考える ・社会権について考える ・人権を守る心は国境をこえて ・選挙をめぐる問題 ・裁判員制度について考える/少年事件と家庭裁判所 ・地域活性化・復興に向けた地域の取り組み ・中小企業の大きな強み/起業に期待！ ・この株、いくら？/為替とクレジットカードのしくみ ・核兵器廃絶に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の文化を考えてみよう <ul style="list-style-type: none"> ・ページ上部に次のように記載している。 「日本の文化は、どのようにかたちづけられ、現代を生きる私たちにどのように受け継がれているのだろうか。」 ○ 地域活性化・復興に向けた地域の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ページ上部に次のように記載している。 「いま、各地の地方公共団体で、まちおこしや村おこし、福祉や教育・まちづくりへの住民参加など、様々な試みが進んでいる。あなたの住む地域では、どのようなことに取り組んでいるだろうか。いくつかの例をみてみよう。」

【社会（公民的分野）】

<p>帝国</p>	<p>12</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ トライアル <ul style="list-style-type: none"> ・マンションの騒音問題を解決しよう ・青果店を営む男性はどうなる？ ・新聞について知ろう ・裁判の判決を考えよう ・自分が住むまちのまちづくりを考えよう ・企業の企画書を完成させよう ・赤字バス路線に税金を使うべきか？ ○ 未来に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・防災とまちづくり ・日本経済の発展に必要なこと ・少子高齢社会における日本の財政 ・地球環境問題の解決に向けて ・より良い未来をめざして 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が住むまちのまちづくりを考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・ページ上部に「学習課題」を次のように記載している。 「この章を通じて、地方自治の役割や地方公共団体の仕事・財政を学習してきました。ここからは、自分が住むまちをより良くするために、どのようなまちづくりが必要かを考えていきましょう。」 ○ 地球環境問題の解決に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・ページ上部に「学習課題」を次のように記載している。 「この章では、地球環境問題の現状と、その解決に向けたさまざまな取り組みについて学習してきました。ここでは、私たちの身近な地方公共団体がどのような取り組みをしているのか、「環境モデル都市」の事例を通してみてみましょう。」 ・ページ下部に「深めよう」を次のように記載している。 「あなたの住む地方公共団体が重視している、環境への取り組みを調べてみましょう。」
<p>日文</p>	<p>30</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ アクティビティ <ul style="list-style-type: none"> ・人口ピラミッドの変化 ・きまりについて考えてみよう ・多数決で決めてよいことと悪いこと ・ユニバーサルデザインを考えてみよう ・人間らしく生きるために必要なものは？ ・携帯電話のルールづくり ・選挙制度 ・新聞を活用しよう ・地域の名物を見つけよう！ ・あなたのまちの財政を調べよう ・ディベート「死刑制度」 ・消費者主権を考えよう ・需要と供給について考えよう ・株価の動きを調べよう ・株式投資をしてみよう ・給与明細を読み取ろう ・ボランティア活動をしよう ・地球環境のためにできること ○ 明日に向かって <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーの社会をめざして ・15歳は「子ども」？それとも「大人」？ ・環境保全への取り組み ・裁判員裁判シミュレーション ・15歳のハローワーク ・金融スキルアップ ・年金シミュレーション ・私たちと社会のつながり ○ チャレンジ公民 <ul style="list-style-type: none"> ・表現の自由について考えよう ・一票の格差の問題を考える ・これからの消費税を考えよう ・地球温暖化に対する政策を考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の名物を見つけよう！ <ul style="list-style-type: none"> ・囲み枠の右下に次のように記載している。 ①地理や歴史の学習もふまえて、自分たちはどのような地域に住んでいるかを考えましょう。 ②グループで地域の名物やまちおこしについて話し合ってみましょう。 ○ バリアフリーの社会をめざして <ul style="list-style-type: none"> ・ページ上部に次のように記載している。 「バリアフリーが実現された社会は、障がいのある人や高齢者だけでなく、日本に住む外国人や、病気やけがをしている人たちにとっても、安全で安心して生活していくのに重要です。すべての人にとっても、障壁（バリア）のない社会は、くらしやすいはずですよ。私たちのまちには、どのようなバリアフリーの施設があるのか、また、どのような点がバリアフリーなのかを調べてみましょう。」 ○ これからの消費税を考えよう <ul style="list-style-type: none"> —議論—

【社会（公民的分野）】

自由社	21	<ul style="list-style-type: none"> ○ もっと知りたい <ul style="list-style-type: none"> ・ 科学とは何だろう ・ 芸術とは何だろう ・ 宗教とは何だろう ・ 男女共同参画社会を考えよう ・ 基本的人権思想の発展 ・ 立憲主義を受け入れやすかった日本の政治文化 ・ 天皇のお仕事 ・ 権利の平等に関する問題 ・ 新しい権利 ・ わが国の安全保障の課題 ・ 選挙制度と政治参加 ・ 情報化とは何だろう ・ 裁判員制度 ・ 企業はだれのものか ・ 年金について考えてみよう ・ 国旗と国歌を考えてみよう ・ わが国の領土に関する問題 ・ 冷戦下の国連の苦難 ・ 国連改革とわが国の取り組み ・ 日本人拉致問題 ・ 国連平和協力活動への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女共同参画社会を考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・ ページ上部に次のように記載している。 「男女が、互いにその人格を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、一人ひとり平等な人間として、その個性と能力を十分に発揮する社会が求められている。」
育鵬社	18	<ul style="list-style-type: none"> ○ やってみよう <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族が生きてきた時代を調べよう ・ 身近な祭りを調べてみよう ・ 新聞の社説を比べてみよう ・ 裁判員になって判決を考えよう ・ 観光資源を探そう ・ 企業を訪問してみよう ○ 考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・ 男女の平等と家族の価値 ・ 人は何のために働くのか ・ 地球環境問題と日本 ・ 1964年と2020年 東京オリンピック・パラリンピックの時代 ○ 理解を深めよう <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の伝統文化 ・ 「ともに生きる」ためにできること ・ 人種差別をなくすために ・ 世界の人権問題 ・ 企業の社会貢献 ・ 領土を取り戻す、守るということ ・ 北朝鮮による日本人拉致事件 ・ 東日本大震災一国民の絆、世界の絆 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家族が生きてきた時代を調べよう <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族にインタビューで、問いを記載している。 ① 祖父母や父母からそれぞれの時代のようすを聞き取り、今と比べたり、社会の動きとの関連を考えましょう。 ② 祖父母や父母に、家庭に電化製品が入ってきたころの話聞いてみましょう。 ○ 地球環境問題と日本 <ul style="list-style-type: none"> ・ キャラクターの吹き出しで、「日本の地球環境問題への取り組みについて調べてみましょう。」と記載している。 ○ 人種差別をなくすために <ul style="list-style-type: none"> ・ キャラクターの吹き出しで、「キング牧師やマンデラについて調べてみよう。」と記載している。

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨ 学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方法	資料の種類と掲載数

	「私たちと政治」における資料の種類と掲載数						合計
	絵 図	写 真	地 図	表・グラフ	新 聞	年 表	
東書	81	100	4	60	12	3	260
教出	63	102	4	61	7	4	241
清水	32	69	3	24	3	1	132

【社会（公民的分野）】

帝国	71	83	1	49	13	0	217
日文	98	95	6	51	17	4	271
自由社	43	58	1	19	0	0	121
育鵬社	90	91	2	33	19	1	236

観点	(エ) 内容の表現・表記	
	視点	⑩本文以外の記述の工夫
	方法	問いやまとめの記載の仕方

	単元名	問いの記載の仕方	まとめの記載の仕方
東書	政治参加と選挙	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターによる吹き出しで、「現在の選挙はどのように行われているのかな。」と記載している。 ○ ためしてみようで「3枚の写真を比較して、現在の選挙にはどのような特徴があるか、気づいた点を挙げましょう。」と記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「確認」のコーナーを設けている。 ・普通選挙，平等選挙，直接選挙，秘密選挙の四つの原則はどうして重要か，このうちの二つを選んで，「公正」の観点から説明しましょう。
教出	国民の代表を選ぶ選挙	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターによる吹き出しで、「投票所には，どんな人がいるのかな」と記載している。 ○ 読み解こうで次のように記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ①一票の格差は，最大で何倍の差があるだろう。 ②一票の格差があることは，どうして問題なのだろうか。 ③このような格差を解消していくには，どうしたらよいだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ふりかえる」というコーナーに，ステップ1，ステップ2を設けている。 ステップ1 <ul style="list-style-type: none"> ・民主的な選挙を実現するにはどのような条件が必要か，確かめよう。 ステップ2 <ul style="list-style-type: none"> ・選挙の課題にはどのようなものがあり，何が問題なのか，自分の言葉で説明しよう。
清水	選挙のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターによる吹き出しで，「いまでは普通選挙が当たり前のことのように思えるけど，財産や性別によって選挙権が制限されていた時代もあったのかしら？」と記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「調査」というコーナーを設けている。 ○ 他の単元では，考えたり，話し合ったり，調べたりするための視点を示す「調査」というコーナーを設けている。
帝国	選挙制度とその課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ ?マークの横に「議員1人あたりの有権者数に差があることは何が問題なのでしょう。」と記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「確認しよう」「説明しよう」というコーナーを設けている。 <確認しよう> <ul style="list-style-type: none"> ・衆議院と参議院の選挙はそれぞれどのような制度で行われているか，本文から書き出してみましょう。 <説明しよう> <ul style="list-style-type: none"> ・衆議院と参議院の選挙がともに選挙区と比例代表を組み合わせているのはどのような理由からなのか，説明してみましょう。

【社会（公民的分野）】

日 文	選挙の意義としくみ	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターによる吹き出しで、「投票に多くの人がかかわるのはなぜだろうか。」と記載している。 ○ アクティビティで次のように記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ①もし当選者が4人なら、次に当選者が出るのはどの政党だろうか。 ②それぞれの選挙制度の死票（落選者に投票された票）は何票だろうか。 ③日本の選挙制度の特徴と課題についてグループで話し合おう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習の確認と活用」というコーナーを設けている。 <ul style="list-style-type: none"> <確認> ・公平な選挙を行うのに必要なことをまとめてみよう。 <活用> ・それぞれの選挙区制の特徴を整理し、長所と短所をまとめよう。
自由社	選挙による政治への参加	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題を記載している。他の單元では、吹き出しによる問いを記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ここがポイント」というコーナーを設けている。 <ul style="list-style-type: none"> ①選挙権・被選挙権は、法で定めた年齢に達したすべての国民に与えられている。 ②選挙の種類によって選挙区制度は異なる。 ③選挙権を実質的に保障し、民主政治の空洞化を防ぐための工夫はさまざまになされている。
育鵬社	選挙のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターによる吹き出しで、「どのように投票すればいいのかな。」と記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容の理解を確認したり、深めたりする課題が設けられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本でかつて行われていた制限選挙が、現在ではどのような選挙に改められているか、四つの原則をあげて説明しましょう。

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	①多面的・多角的に考察させるための工夫
方法	多面的・多角的に考察させる具体例

多面的・多角的に考察させる具体例	
東 書	<p>「地球社会と私たち」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「バター戦争」 現在も地球上のどこかで、戦争や紛争が起こっています。戦争や紛争はどうすればなくなるのでしょうか。右の物語を読んで考えてみましょう。 ○ 「アニマル大陸の危機を救おう」 地球社会で起きるさまざまな課題に、私たちはどのように向き合えばよいのでしょうか。これまで国際社会について学習してきたことを生かして、ある動物たちの暮らす大陸の課題を例に考えてみましょう。 ○ 深めよう <ul style="list-style-type: none"> ・日本のエネルギー政策のこれから これからの日本のエネルギー政策はどうあるべきか、地理、歴史の学習もふまえて自分の考えをまとめ、グループで話し合います。その際、(1)日本のエネルギー事情、(2)日本経済への影響、(3)環境への配慮、(4)生活の便利さと安全、(5)持続可能な社会の形成の五つの観点をできるだけふまえます。 ・パレスチナ問題と中東和平 <ul style="list-style-type: none"> ①パレスチナ問題の経緯を、(1)紀元前から第一次世界大戦まで、(2)第一次世界大戦から第二次世界大戦まで、(3)第二次世界大戦から現在までの三つの時期でまとめましょう。 ②どうすればパレスチナ問題は解決するか、クラスで意見交換しましょう。
教 出	<p>「国際社会に生きる私たち」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読んで深く考えよう 「日本の外交のいま」 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の外交は、現在、どのような課題に直面しているのでしょうか。近隣諸国と、そして世界各国と「ともに生きる」ために、日本の外交の過去と現在を学び、将来について考えてみましょう。 ○ 読み解こう 「三つの観点からみた二酸化炭素の排出量」 <ul style="list-style-type: none"> ①アのグラフからは、誰のどのような主張が考えられるだろうか。 ②イヤウのグラフからは、誰のどのような主張が考えられるだろうか。 ③三つのグラフ全体からは、どのようなことがいえるだろうか。

【社会（公民的分野）】

清 水	<p>「国際社会を生きる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 深める公民 「核兵器廃絶に向けて」 <ul style="list-style-type: none"> ・中学生がおこなった次の二つの取り組みから、核兵器廃絶に向けて、私たちにできることは何かを考えてみよう。 ○ もっと知りたい公民 <ul style="list-style-type: none"> ・欧州連合（EU）は、ヒト、モノ、サービス、資本の移動を自由にし、経済の結びつきを強め、政治的にも一つにまとまろうとしている。EUの国々にはどのようにつながりを深めているのだろうか。 ・地球の温暖化が進むと、気温の上昇にともなって、自然環境や人々の生活にさまざまな影響があらわれることが予想されている。地球温暖化が進むと、世界はどう変化していくのだろうか？
帝 国	<p>「私たちと国際社会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ やってみよう 「世界の子どもたちと協力できることを考えてみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・下の写真は私たちと同じ世代である世界の子どもたちが、現在直面している課題を示したものです。 ①写真と地図を見比べてみましょう。写真のできごととはどのような場所で起きているのか、関連を考えてみましょう。 ②気になる写真を二つ選んで、それらについて、世界をより良くしていくために、子どもたちといっしょにどのようなことをしていくべきか考えてみましょう。 ○ 未来に向けて 「地球環境問題の解決に向けて」 <ul style="list-style-type: none"> ・この章では、地球環境問題の現状と、その解決に向けたさまざまな取り組みについて学習してきました。ここでは、私たちの身近な地方公共団体がどのような取り組みをしているのか、「環境モデル都市」の事例を通して見てみましょう。
日 文	<p>「私たちと国際社会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際ナビ <ul style="list-style-type: none"> ・まんがから国際社会を考えよう ○ アクティビティ 「地球環境のためにできること」 <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは消費者として企業の商品を選択することが、社会に大きな影響をあたえることを学びました。こうした一人一人の行動の積み重ねが、地球環境問題にも大きな影響をあたえます。 ①⑧の例のほかに、私たちができることは何だろう。 ②二酸化炭素を削減するための取り組みを考えよう。 ○ チャレンジ公民 <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化に対する政策を考えよう
自 由 社	<p>「国際社会に生きる日本」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ もっと知りたい <ul style="list-style-type: none"> ・私たちにとって日本の国旗や国歌は、どのような意味をもっているのだろうか。また外国では、国旗や国歌はどのようにあつかわれているのだろうか。 ・わが国の2つの重大な領土問題と尖閣諸島に対する他国による領有権の主張は、どのようないきさつで起こったのだろうか。詳しく調べてみよう。 ・21世紀の現在、国際連合にはどのような改革が求められ、その改革にわが国はどのようにかわろうとしているのだろうか。 ・北朝鮮は、なぜ日本人を拉致したのであろうか。この重大な人権侵害と国家主権侵害を、日本はなぜ防げなかったのであろうか。 ・わが国は、国際平和にどのように貢献しているのだろうか。PKOやそのほかの活動もみてみよう。
育 鵬 社	<p>「私たちと国際社会の課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際社会の入り口 <ul style="list-style-type: none"> ・海を隔ててA国とB国があります。あなたはA国の外交官として、隣のB国との間の課題を解決したいと考えています。A国とB国との間には以下の六つの課題があります。どれも大切な課題です。あなたなら、どの課題から優先的に取り組みますか。 ○ 理解を深めよう 「領土を取り戻す、守るということ」 <ul style="list-style-type: none"> ・尖閣諸島をめぐる出来事について、新聞記事などを調べ、領土を守るにはどうすればいいか、それぞれの立場で自分の考えを80字以内でまとめ、発表し合ひましょう。 ・この記事を読み、拉致問題について知ったこと、それに対する自分の考えを、理由を含め80字以内で書き、発表し合ひましょう。 ○ 考えよう <ul style="list-style-type: none"> 2020（平成32）年にオリンピック・パラリンピックが東京で開かれることになりました。東京での開催は、高度経済成長期の1964（昭和39）年以来56年ぶりです。 そこで、1964年のオリンピック・パラリンピックのことや、当時の世の中の様子を調べて、現在や2020年と比べてみましょう。

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
方法	単元末におけるまとめ方の具体例

単元末におけるまとめ方の具体例	
東 書	<p>「私たちの暮らしと経済」</p> <p>○ この章の学習を確認しよう</p> <p>3 この章の各節の学習に関する次の問いに答えましょう。</p> <p>(1) 【消費生活と経済】 より良い消費生活を営むために私たちが気をつけるべきことは何か、次の語句を使って説明しましょう。[計画性/消費者問題/消費者の権利/自立した消費者]</p> <p>(2) 【生産と労働】 企業の役割について、次の語句を使って説明しましょう。[財やサービス/技術革新/企業の社会的責任/労働条件]</p> <p>(3) 【価格の働きと金融】 金融の役割について、上の図を参考にして、次の文のそれぞれの空欄に語句を当てはめて説明しましょう。「金融は、企業や家計、政府の間で（ ）を（ ）し、その経済活動を（ ）仕組みです。」</p> <p>(4) 【政府の役割と国民の福祉】 日本の財政は今後、どのような方向を目指していくべきか、上の図を参考にして、自分の考えを「（ ）な財政」というキャッチコピーで分かりやすく表現しましょう。</p> <p>(5) 【これからの経済と社会】 これからの日本経済はどうあるべきか、次からテーマを一つ選び、自分の考えを文章で説明しましょう。[①環境保全と経済成長の両立 ②経済のグローバル化と日本 ③「豊かな社会」の実現]</p>
教 出	<p>「私たちの暮らしと経済」</p> <p>○ 学習のまとめと表現</p> <p>2 なぜ、企業と企業は競争する必要があるのだろうか。また、公正で自由な競争を守るために、国はどのような取り組みを行っているか、自分の言葉で説明してみよう。</p> <p>3 下の飲料のイラストのパッケージ表示を見ながら、消費者、企業、政府の責任について考えてみよう。</p> <p>(1) パッケージの表示にはどのような決まりがあるか、調べてみよう。</p> <p>(2) なぜこのような決まりがあるのか、消費者、企業、政府のそれぞれの立場から考え、クラスで話し合ってみよう。</p> <p>4 下の写真に関する問いについて、右のグラフを活用しながら説明してみよう。</p> <p>(1) 台風などの天候による影響でりんごが不作だったとき、りんごの供給曲線はどのように移動するだろうか、グラフをもとに考えてみよう。</p> <p>(2) 社会全体のりんごに対する需要が変わらなかつたら、そのときのりんごの価格はどうなるだろうか。</p> <p>(3) p 126 の「とれすぎたキャベツの廃棄処分」の事例について、需要曲線と供給曲線の関係から説明してみよう。</p>
清 水	<p>「私たちの生活と経済」</p> <p>○ 「私たちの生活と経済」のまとめ</p> <p>①次のことばについて説明しよう。</p> <p>貨幣 通貨 公共料金 物価 インフレーション デフレーション 資本主義経済 私企業 公企業 寡占 公正取引委員会 間接金融 直接金融 貿易 為替相場 財政 社会資本 累進課税制度 国債 ワークライフバランス 労働組合 クーリングオフ制度 循環型社会 3R</p>
帝 国	<p>「私たちと経済活動」</p> <p>○ 学習をふりかえろう</p> <p>2 説明しよう</p> <p>A 右のグラフは、女性の労働力率を示したものです。次の問いに答えましょう。</p> <p>①日本、スウェーデン、アメリカ、ドイツのなかで25歳以上の女性の労働力率が最も高い国はどこでしょうか。</p> <p>②1985年と2008年の日本のグラフを比較して、読み取れることを説明してみよう。</p> <p>③②で読み取ったことの原因として考えられることがらを説明してみよう。</p> <p>B 右のグラフは、日本とおもな国の賃金の差を示したものです。次の問いに答えましょう。</p> <p>①グラフ中の7か国のうち、最も賃金が低い国と日本との差は、およそ何倍になるでしょうか。</p> <p>②このように賃金に差がある状態が続いたとき、今後日本で起きると予想されることがらを説明してみよう。</p>

【社会（公民的分野）】

日 文	<p>「私たちの生活と経済」</p> <p>○ 学習の整理と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連ページのふり返り <ol style="list-style-type: none"> 1 P131の需要曲線と供給曲線の図をノートに写し、なぜ農産物の値段が上がるのか、図を使って説明しよう。 2 生産要素を四つ書き出してみよう。そして、よく売れている店とそうでない店に、どのようなちがいがあのかを、生産要素に分解して考えてみよう。 3 企業の終身雇用と年功序列について説明しよう。近年、企業が導入している成果主義がこれらにどのような影響をあたえているか確かめよう。 4 銀行が利益をあげるしくみを、預金金利と住宅ローン金利のちがいから説明してみよう。 5 政府の役割を三つ書き出してみよう。そして、それぞれについて、なぜ民間（家計と企業）では行わないかを説明してみよう。 6 なぜ増税を行うと、景気の過熱を防ぐのかを説明してみよう。 ・ 合意を考えるための問題 <p>財政赤字になやむ地方自治体では、赤字の路線バスを廃止することを考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 住民A「買い物や病院に行くのに、特に高齢者にとって、路線バスは必要です。」 ◇ 住民B「知らない地域のことでよくわかりませんが、そんなに赤字なら廃止してはどうですか。」 ◇ 地方公共団体「赤字は市の財政に悪影響があります。乗車の効率が悪く住民にとっても公正ではありません。」 <ol style="list-style-type: none"> ①なぜ、地方公共団体は税金を使ってバスを運行しているのか、「市場経済」の語句を使って答えましよう。 ②路線バス存続派の立場から、廃止派の人々を説得する主張を考えましよう。 ③地方自治体から、路線バスの民営化の提案がありました。あなたはどのような判断を下しますか。 ④路線バスの存続のために、廃止派の人とも合意できるとする内容と、そう判断した理由を考えましよう。
自 由 社	<p>「国民生活と経済」</p> <p>○ 学習のまとめと発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の発展 <p>第4章の学習を発展させるために、次の課題のうち1つ選んで、約400字でまとめてみよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①江戸時代の家庭にはなくて、現代ではどこの家庭にもある家庭用品を10ほどあげ、それらがなければ、生活がどのように変わるか考えてみよう。 ②新しく開発された商品は経済生活を豊かにする。同時に社会に悪い影響を与えることがある。そのときは規制が必要となる。そのことを、携帯電話を例にして考えてみよう。 ③市場経済では、商品を売るために莫大な宣伝費をかけるのに対して、計画経済では宣伝費はあまりかけない。宣伝費の得失について、考えてみよう。 ④高齢者が増え、働いている若い世代が少なくなる高齢化社会の中で、年金制度に問題が生じることを確かめ、その解決法にはどのようなものがあるか、いろいろ考えてみよう。 ⑤わが国は循環型社会をさらに進めるために、どのようにしていかなければならないか、考えてみよう。
育 鵬 社	<p>「私たちの生活と経済」</p> <p>○ 学習のまとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> ②下のイラストは、円高のときと円安のときの、日本に旅行に来ている外国人と、外国へ旅行に行っている日本人のようすをそれぞれ表したものです。ふきだしの（ ）の中に適当な数字を入れ、[]の部分には、その状況にふさわしい言葉を入れましよう。 ③サラリーマンをしているAさんは、政府の政策に対して不満をもっていました。年金制度が改正され、国民年金と厚生年金の保険料が段階的に引き上げられたり、消費税も増税されたりしているからです。あるとき、Aさんは下のような図を目にしました。図は高齢者一人に対する生産年齢人口（15歳～64歳）の変化を示したものです。これを見たAさんは、保険料や消費税の引き上げはやむを得ないと思いました。Aさんはなぜ不満をもっていたのでしょうか。そして、どうして考えが変わったのでしょうか。説明ましよう。